

第 48 回国頭地区中学校総合体育大会ソフトテニス競技要項

1. 主催 国頭地区中学校体育連盟
2. 共催 沖縄県教育委員会 国頭地区 PTA 連合会 国頭地区市町村教育委員会
3. 期 日

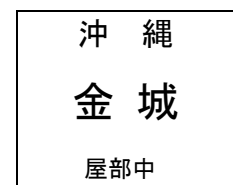
夏季総体	令和3年 6月 5日(土) 午前8:30
	6月 6日(日) "
	6月 12・13日 予備日
新人総体	令和3年 12月 4日(土) 午前8:30
	12月 5日(日) "
	12月 11日(土) 予備日

4. 会 場 **名護市営庭球場（雨天時待機場所：名護市営屋内球技場）**
今帰仁村庭球場（新人戦で使用：男子の団体戦会場：初日）
5. 参加資格 (1)国頭地区中体連加盟校で中体連会費を納めた学校
(2)チーム編成は学校単位で学校長の認めたチームとする。
(3)引率及び監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。
6. 企画運営 中体連ソフトテニス専門部
諸喜田 亮（屋部） 渡具知佳史（大宮） 宮城志緒理（伊是名）
比嘉 大志（大宮） 泉川奈々美（名護） 小橋川仁（今帰仁）
7. 監督会 夏季総体・・・令和3年 5月19日（水）
新人総体・・・令和3年11月17日（水）
◆大会要項確認 ◆協議事項話し合い ◆抽選会
8. 申し込み 夏季総体・・・令和3年 5月10日（月）15時
新人総体・・・令和3年11月10日（水）17時
※学校単位で、本部中学校（高良）へ提出です。
9. 競技方法 ①トーナメント形式とする。第3シード決定戦あり。
②7ゲームマッチを原則とするが、5ゲームもありうる。
③試合球は赤Mを使用する。
④日本ソフトテニス連盟競技規則を適用し、国際ルールで行う。
新ルールを適用する。（平成16年度完全実施）
⑤ 監督会決定事項を併用する。

- ⑥ 団体戦チーム編成
 - ◆ 夏季総体は学校代表**1チームのみ**の参加とする。
 - ◆ 新人総体はA・Bの**2チーム**参加できる。
- ⑦ 個人戦参加組（ペア）数
 - ◆ 夏季総体は**6ペアまで**参加を認める。
但し、1年生の参加の場合は、審判ができることとする。
 - ◆ 新人総体は10ペアまで参加を認める。
- ⑧ 審判は生徒審判、依頼審判を併用する。
- ⑨ 団体戦1戦目は3ペア対戦する。ただし、2戦目以降は2ペア先取で終了する。
- ⑩ シード制の採用について
 - ◆ 夏季大会は別紙参照
 - ◆ 新人大会は新報杯の結果によりベスト4をシードする。
- ⑪ 団体戦の組み合わせは、各監督で抽選し、個人戦は本部抽選とする。
- ⑫ 大会当日は晴天、雨天に関わらず **8 : 30** に監督会を行う。
- ⑬ 開会式には選手全員出席し、~~終了後、顧問において選手の容姿点検を行う。~~
※閉開会式については新型コロナウイルス感染症拡大状況により判断する。

10. 監督会確認事項

- ① 選手はユニフォームを着用し、テニスシューズを履く。
- ② 背に B5 版大の学校名と苗字入りのゼッケンをつける。
- ③ 中体連の統一要項を順守する。(例、そり・染髪・パーマ等)
- ④ ごみの処理等は各学校で、必ず責任を持って持ち帰る。
- ⑤ 選手・応援のけが、負傷等は各学校で責任を持って処置する。
- ⑥ 団体戦の選手変更は監督会までとする。個人戦の選手変更は原則として認めない。但し、ケガ、病気等による場合は監督会にて確認して変更を認める。
また、他校との合同ペアの参加は認めない。
- ⑦ 団体戦を先に行い、試合進行は原則として対戦表の通りとする。
- ⑧ 団体戦のオーダーは毎回本部へ提出する。
- ⑨ 各監督（引率者）で安全面の配慮、貴重品の管理を行う。
- ⑩ 各学校で熱中症、雨天時(カッパ、傘)の対応を行う。
- ⑪ 各学校の専属カメラマンのマナーは注意しておく。
- ⑬ 南西ビル、コープ宮里の駐車場への駐車、役員駐車場（2台程度）への駐車を禁止とする。
- ⑭ ベンチには、登録されたコーチ1名が入れる。
- ⑮ コロナ感染予防のためのガイドラインに準じて大会を実施する。(別紙参照)
・ ID 表示・健康観察記録・参加許可書・入場制限（無観客等）・消毒液持参



※駐車場にて、大型車専用にご協力をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン ソフトテニス専門部

1 大会実施にあたっての基本的な考え方

大会実施にあたっては、国頭地区中学校体育連盟主催大会実施上のガイドラインを参考に、沖縄県中学校体育大会実施にあたっての基本的な考え方に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策を講じることとします。

【大会実施にあたっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染予防の3つの基本（身体的距離の確保、マスク着用、手洗い等の徹底）
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場所）の回避
- (4) 安全な活動環境の確保

2 ソフトテニス競技の主な対策

- (1) 開閉会式は実施しない。ただし、表彰式は行う。団体3位、個人3位まで。
初日は、団体戦終了後、個人戦も行う。
2日目は、個人戦を行う。
- (2) 会場に入れるのは、大会関係者とIDを持っている選手、保護者、校長、教頭とする。
- (3) 保護者の応援人数を制限する。
1日目：各学校**最大8名**とする。
2日目：各学校勝ち残ったペアの保護者**各1名**とする。
※ **応援者名簿（別紙6）の提出。**
※ ID着用（当山杯、名嘉杯等で使用したIDも使用可）
※ 感染状況によっては、無観客もありうる。（感染レベルが3-①）
- (4) 出入り口を制限する。市営庭球場は、クラブハウス（本部）側の3カ所のみとする。
- (5) テント内では、密にならないように距離をおく。各学校の待機場所も指定された場所とする。
- (6) ベンチ、スタンドでも距離を置いて座る。試合前の円陣は行わない。ベンチの使用後、各チームでベンチの消毒を行うこと。
- (7) コート外ではマスクの着用。
- (8) 雨天時は、市営コート隣の屋内球技場で各学校、距離を保って待機する。
- (9) 各学校で体温計、消毒液等の持参し、手指の消毒をこまめに行う。
- (10) クラブハウスの換気、消毒液、除菌液による消毒をこまめに行う。